

沖縄県立博物館・美術館

新型コロナウイルス感染症に係る 貸施設利用についての実施ガイドライン

1. 目的

沖縄県立博物館・美術館で貸施設を利用するにあたり、国の「基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について」及び、沖縄県の「沖縄県新型コロナウイルス感染症対策の対処方針」に基づく新型コロナウイルス感染防止対策をイベント主催者が実施することで、感染リスクを最小限にするとともに、全ての施設利用者に安心・安全に利用いただくことを目的とする。

2. 適用期間

令和2年6月2日から当面の間とする。

3. 対象

沖縄県立博物館・美術館の貸施設を対象とする。

4. 各施設における収容人数の制限

各施設における参加可能人数は下表の通りとする。

※下表の人数はイベント実施日における、国の「基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について」及び、沖縄県の「沖縄県新型コロナウイルス感染症対策の対処方針」に応じるものとする。感染状況の悪化等により、現時点より厳しい要請の内容になる場合があることをご留意ください。

施設名	参加可能人数	
	大声での歓声・ 声援あり	大声での歓声・ 声援なし
博物館 企画・特別展示室	—	展示レイアウトによって異なる
博物館 講座室	50名以内	80～100名以内
博物館 実習室	15名以内	30名以内
美術館 企画展示室1・2	—	展示レイアウトによって異なる
県民ギャラリー1	—	30名以内
県民ギャラリー2・3	—	25名以内
県民ギャラリースタジオ	15名以内	30名以内
県民アトリエ	10名以内	15名以内
こどもアトリエ	10名以内	15名以内
美術館 講座室	30名以内	50～60名以内
講堂	100名以内	210名以内

※上記の人数には運営側を含めること。

※人を密集させない環境の間隔を確保するよう会場レイアウト、定員数の設定や人員の配置等による動線の確保などを行うこと。

- ・大声なし：密が発生しない程度の間隔（最低限人と人が接触しない程度の間隔）を空けることとする。
- ・大声あり：十分な人と人との間隔（できれば2m、最低1m）を空けることとする。

5. 当館施設をご利用される主催者の方へ

1) 開催時における実施事項

- ①事前申込時または来場時に氏名、連絡先（電話番号、メールアドレス）を把握する。
- ②来場時のマスク着用の徹底を事前に周知し、以下の項目に該当する方に対しては、イベント参加の自粛を要請する。
 - ・発熱や風邪、体調が優れないなどの症状がある方。
 - ・国の緊急事態宣言など外出自粛要請が発令されている地域から参加する方。
- ③入退場時の手指消毒を徹底し、こまめな手洗い、咳エチケットを励行する。
- ④イベント開催中におけるマスクの着用を徹底する。
- ⑤密閉空間にしないよう、開催時には空調設備を稼働（準備・片付けを含む）し、定期的に休憩時間を設けるなどの対策を講じる。
- ⑥大声を発する場合は、十分な間隔（できれば2m、最低1m）を確保するよう会場レイアウトの工夫をする。
- ⑦参加者の手が触れる場所をアルコールや次亜塩素酸ナトリウムを含有したもので、ふき取りを行う。
- ⑧参加者の中に、大声を出す方がいた場合は、個別で注意・対応等ができる体制を整備すること。
- ⑨参加者に対して、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」や「RICCA」の活用を促すこと。

2) 保健所等の公的機関への協力

当該イベントより感染者が発生した場合は、後日追跡できる体制を整え、必要に応じて保健所等に対してイベント参加者（運営側も含む）の氏名、連絡先等の提出や聞き取り調査への協力をする。また、その際に知りえた個人情報の取り扱いは、法令を遵守するとともに適正な管理を徹底する。